

障害者と家族の安定した暮らしのために 必要なサービス・機能は?

検事スタート

4月にスタートした「地域生活支援拠点検証事業」についての説明会が育成会員を対象に5月30日(火)、であります。

い・さくさべ会議室にて開催され、55人が参加しました。説明には千葉市障害福祉サービス課松田課長と関口担当、この事業の委託先である(社)福あしたば中野学園江澤副施設長の3人がお見えになりました。

●面的整備でスマールスタート

説明冒頭に、地域生活支援拠点事業は大別すると「多機能拠点整備型(GH併設型・単独型)」と地域において機能を分担して担う「面的整備型」があり、千葉市は面的整備型でこの事業に取り組む。他の市町村での取組もあり進んでいなく、事例の少ないことから、今年度は絞って、スマールスタートを



みんなが安心して暮らすための1歩に

する。障害者のニーズは何か、千葉市の課題は何か、どういった機能があればがお見えになりました。

●対象者・障害程度・事前登録

この検証事業の対象者は緑区にお住まいの方、又は緑区にある障害福祉サービス事業所をご利用されている方のうち、育成会員を対象とします(ただし、独居の障害者等で支援の必要性が認められる方は育成会員である必要はありません)。障害程度は問いません。サービス利用ご希望の方は、中野学園にご連絡下さい。審査(個人情報の取り扱いへの同意、他サービスの利用状況など)、登録後に必要に応じてサービス提供します。

●具体的な事業は

地域生活支援拠点事業は①相談②自立訓練(体験の機会・場の提供)③緊急時受入れ④人材育成⑤地域の体制づくり、そして千葉市独自の⑥見守りの6事業となります。説明に使われたイメージ図では問題を有する家庭(老障介護、障害福祉サービスを一切受けない、地域との関わりがない)を考えているとの事でした。

●説明終了後の質疑応答

緊急時受入の具体的な内容、24時間・

365日対応の有無、問題を有する家庭の掘り起こし方、計画相談や短期入所の現状、災害時の対応等の質疑応答が活発に行われましたが、まだスタートしたばかりのこともあり、今後の検討課題になっています。

●終了後のアンケートから

6事業の中での優先順位は(一位)緊急時の受入れ(二位)相談事業(三位)人材育成事業という結果でした。

(副会長 佐々木)

育成会の理事の活動つて?

今年度の育成会の役員は、会長と5人の副会長、理事19人がいます。理事は次の5つの部に所属し活動します。

【研修部】

基本的に年一回の研修会(11月)施設見学(1月)があります。今年度はメンバーは大きく変わりましたが、我が子と家族が良い方向へ日々の生活に役立つ、将来の暮らしを考える等々に進むような内容にしたいと思います。

【広報部】

年3回の育成会だよりを発行します。育成会だよりは、各区の福祉センターに置かれ、また市のホームページに掲載されるなど、育成会の啓発活動の一部を担っています。今年度は5人のメンバーで活動しています。

【文化部】

バス旅行や気功教室、アロマ教室などを年3回開催しています。

【ソーリング部】

ハンドメイドの袋物や手提げ、エプロンなどを販売しています。お母さん達の心のこもった作品は、いずれもデザインとアイデア、使い勝手の良さで一緒に踊って、みんなで楽しんでいます。今年も12月10日(日)に開催する予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

【レク部】

毎年12月にクリスマス会を開催しています。オーケストラ演奏、ダンスパフォーマンス、パン食い競走にサンタさんからのプレゼント…観て聴いて一緒に踊って、みんなで楽しんでいます。今年も12月10日(日)に開催する予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

ど、会員の皆様の親睦と日頃の疲れを癒すお手伝いができると企画しています。今秋にはプリザーブドフラワー教室を開催する予定です。「楽しかった!」の皆様の声を励みに、情報収集しながら、面白い企画になるよう挑戦していきます。

- 後見人の活動にばらつき、質の差がある。
- 意思決定支援の觀点があつても、苦情を言える第三者機関がない。
- 障害者は後見報酬の支払いが長期にわたり、本人の資産が減っていくために、第三者後見人を付けにくいたなどです。

明確になつた課題は

- 後見人の活動にばらつき、質の差がある。
- 意思決定支援の觀点があつても、苦情を言える第三者機関がない。
- 障害者は後見報酬の支払いが長期にわたり、本人の資産が減っていくために、第三者後見人を付けにくいたなどです。



親のつながりも大事

先日の総会で、来賓の方が祝辞の中で「制度が整うと、親の会に入会しなくなるが、制度では提供できないものを得られ

せいかつ委員会では、成年後見制度について、たびたび取り上げていますが、現段階では「利用はしばらく待つて」と言っています。後見人の不正行為が主な理由ですが、制度開始当初に想像しなかつた使い勝手の悪さが目立つようになつたためです。千葉県知的障害者福祉協会加盟の、入所支援施設に協力をお願いし、62施設を対象としました。入所施設には制度利用者が複数おり、実態が分かると思われたからです。回収は77%と高率でした。

●後見人の活動にばらつき、質の差がある。

●意思決定支援の觀点があつても、苦情を言える第三者機関がない。

●障害者は後見報酬の支払いが長期にわたり、本人の資産が減っていくために、第三者後見人を付けにくいたなどです。

文化部 親睦旅行 君津の自然を味わって

千葉県育成会権利擁護委員会発行の「アドボケイト」が、5月のお便りに同封されていました。そこに、千葉市社会福祉協議会運営の「千葉市成年後見支援センター」の取り組みが紹介されています。お手許にある方はもう一度読んでみてください。

同センター佐藤正幸所長は寄稿の中で「制度を利用した後に、もつと勉強しておくべきだつたと後悔の声を聞くことがあります」と書かれています。制度利用には、前もつて必要な情報を得て、後悔のないようにしてください。

主催の親睦旅行に参加しました。行先は君津市の濃溝の滝と久留里城です。新緑が綺麗でマイナスイオンが感じられる空気の中、遊歩道を歩き、階段を下りて行くと神秘的な濃溝の滝に着きました。

お昼は、亀山湖畔の目に鮮やかな緑に囲まれた亀山温泉ホテルで食事をとりました。午後には、きつい坂道を途中休みながら登り、所々に咲くピンク色の君津の花、ミツバツツジを見ながら、やつとの思いで久留里城の天守閣に着きました。苦労して登つた分、見晴らしが素晴らしい感じ



亀山湖畔のホテルでこやかに

りの大切さを教えられます。こうしたことからも、制度だけで足りるわけではないことが分かります。

せいかつ委員会では、アンケート結果についての研修会も企画する予定です。(せいかつ委員会 久保田)

この他、4つの委員会(せいかつ委員会)はたらく、あんしん、こども)があり、理事の他に一般会員も参加することができます。

帰りはJA君津みらいで新鮮な野菜とお土産を買つて、参加者同士の親睦を深め、とても充実した一日を過ごすことができました。来年度も皆さんに企画したいと思っています。ぜひご参加ください。(文化部 大川)

4月21日(金)初めて文化部主催の親睦旅行に参加しました。行先は君津市の濃溝の滝と久留里城です。新緑が綺麗でマイナスイオンが感じられる空気の中、遊歩道を歩き、階段を下りて行くと神秘的な濃溝の滝に着きました。

このことは洞窟に差し込む日の光がハート型に見えることで話題の場所で、また、螢の生息地としてとても知られ、五月の下旬から螢を鑑賞することができるそうです。とても癒される空間でした。

お昼は、亀山湖畔の目に鮮やかな緑に囲まれた亀山温泉ホテルで食事をとりました。午後には、きつい坂道を途中休みながら登り、所々に咲くピンク色の君津の花、ミツバツツジを見ながら、やつとの思いで久留里城の天守閣に着きました。苦労して登つた分、見晴らしが素晴らしい感じ